

令和8年熊本地震に係る
第6回政府非常災害現地対策本部会議
第13回熊本県災害対策本部会議

日時：令和8年8月3日（月）16：00～
会場：県庁防災センター2階 201会議室
（災害対策本部会議室）

次 第

1 今後の気象の見通し（熊本地方気象台）

2 国・県・関係機関からの報告

（報告順）

県関係部局→国関係機関→関係機関

3 災害対策本部長（知事）コメント

4 現地対策本部長（副大臣）コメント

令和8年熊本地震に係る 第6回政府非常災害現地対策本部会議 第13回熊本県災害対策本部会議

日	事 項
7月28日（火）	○ 16時27分 地震発生 ○ 16時27分 災害対策本部設置、緊急消防援助隊（消防庁から関係県へ出動要請） ○ 17時30分 陸上自衛隊への災害派遣要請（発災直後から派遣調整を開始） ○ 19時00分 災害救助法適用（熊本市含む21市町村） ○ 20時00分 第1回災害対策本部会議 ○ 21時00分 海上自衛隊への災害派遣要請
7月29日（水）	○ 0時00分 第2回災害対策本部会議 ○ 9時30分 第3回災害対策本部会議 ○ 16時00分 第4回災害対策本部会議（津島内閣府副大臣同席の上、被災7市町長との意見交換）
7月30日（木）	○ 9時30分 第5回災害対策本部会議 ○ 16時00分 第6回災害対策本部会議
7月31日（金）	○ 9時30分 第7回災害対策本部会議 ○ 16時00分 第8回災害対策本部会議（第1回政府非常災害現地対策本部会議と合同開催）
8月 1日（土）	○ 9時30分 第9回災害対策本部会議（第2回政府非常災害現地対策本部会議と合同開催） ○ 16時00分 第10回災害対策本部会議（第3回政府非常災害現地対策本部会議と合同開催）
8月 2日（日）	○ 9時30分 第11回災害対策本部会議（第4回政府非常災害現地対策本部会議と合同開催） ○ 16時00分 第12回災害対策本部会議（第5回政府非常災害現地対策本部会議と合同開催）
8月 3日（月）	○ 16時00分 第13回災害対策本部会議（第6回政府非常災害現地対策本部会議と合同開催）

令和8年熊本地震に係る 第6回政府非常災害現地対策本部会議 第13回熊本県災害対策本部会議

【知事公室 危機管理防災局】
R8.8.3（月）14:00時点

【人的被害・住家被害】

○ 人的被害：157名

うち死亡：38名（①＋②＋③）

①災害起因死者（市町村が災害が原因で死亡したこと
を確認した死者） 36名

②災害による負傷の悪化又は身体的負担による疾病に
より死亡した可能性のある死者 1名

※正式には市町村に設置される審査会を経て決定

③災害との関連を調査中の死者 1名

・日本製紙八代工場にて、閉じ込められた11名全員の救助完了（うち9名は死亡）

・イオンモール熊本にて、12名救助し、うち5名は軽症、7名は死亡 ※救助活動終了

○ 住家被害：12,024棟 ※推計値を含むものであり、今後修正が入る可能性あり。

【内訳】全壊 700棟／大規模半壊 20棟／半壊 1,025棟／一部破損 5,441棟／分類未確定 4,838棟

【避難に関する情報】 避難所開設数：162か所、避難者数：8,383名

【熱中症搬送件数の推移】 ※震度6強以上を観測した市町を管轄する各消防本部（局）

	7/21～27平均	7/28	7/29	7/30	7/31	8/1	8/2
熊本市消防	12.1	9	16	10	15	12	11
八代消防	4.0	2	20	12	13	11	7
宇城消防	1.7	6	12	3	4	1	4
上益城消防	1.6	2	2	0	1	1	2

【停電の状況】

○停電事故受付数：85件

【県災害対策本部への省庁・他自治体からの支援状況】

○省庁等：内閣府防災、こども家庭庁、警察庁、デジタル庁、総務省、消防庁、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、海上保安庁、環境省、熊本地方気象台、防衛省、陸海空自衛隊
防災科学技術研究所、人と防災未来センター

○自治体：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、他都県及び市

【県内被災地における各機関の活動】

活動区分	活動機関
航空偵察	海上自衛隊、陸上自衛隊、県警、国交省ヘリ、本県防災ヘリ、鹿児島県防災ヘリ
人命救助	県警、県内消防、緊急消防援助隊、自衛隊、各県防災ヘリ
患者搬送	陸上自衛隊、D-MAT、防災ヘリ（佐賀県、長崎県、北九州市）、ドクターヘリ
給水支援	陸上自衛隊（給水車）、海上自衛隊、航空自衛隊、海上保安庁、国土交通省
入浴支援	陸上自衛隊、海上自衛隊、海上保安庁

【罹災証明書関係】

○市町村の状況（令和8年8月3日 14時00分時点）

- ・専用窓口設置市町村（予定含む） 30市町村
- ・専用窓口設置市町村のうち
 - 住家被害認定調査実施市町村（予定含む） 21市町村
 - 随時対応市町村 3市町村
 - 未定（調整中）市町村 6市町村

※詳細は別紙参照

令和8年熊本地震に係る
第6回政府非常災害現地対策本部会議
第13回災害対策本部会議

【総務部】

R8.8.3（月） 14：00時点

被害状況

【県庁舎等の施設の被害状況】

振興局等※窓口休止に関しては県HP掲載済み

○窓口への影響 宇城総合庁舎は、県税窓口、農林部の窓口業務のみ再開（その他の窓口業務は休止中）

その他の施設は、全ての窓口業務再開

○水道 断水中（宇城総合庁舎・宇城保健所・八代総合庁舎）

【私立学校の被害状況】

（人的被害）

- ・ 17校から生徒等の負傷の報告あり。

（物的被害）

- ・ 学校 43校（中高 18校、専修学校・各種学校 25校）
応急危険度判定士の私立学校への派遣について文部科学省と調整中。

現在及び今後の対応状況

- ・ 今後、予算化が必要となる事業について、各部局に対し照会中。
- ・ カスハラ対応や電話応対品質向上のための外線電話への録音告知を7月30日（木）16時から当面の間停止。

【普通交付税の繰上げ交付】

- ・ 交付対象団体： 県及び20市町村（災害救助法適用の21市町村のうち、不交付団体である菊陽町を除く）
- ・ 繰上げ交付額： 県分 約307億円、県内20市町村分 総額約309億円
- ・ 現金交付日： 8月3日（月）

【県税の減免】

- ・ 各広域本部及び自動車税事務所に県税の減免・納税の猶予等に係る相談窓口を設置

令和8年熊本地震に係る 第6回政府非常災害現地対策本部会議 第13回災害対策本部会議

【総務部】

R8.8.3（月） 14：00時点

現在及び今後の対応状況

【市町村への県職員派遣】

- ・情報連絡員（LO）を八代市、宇城市、宇土市、美里町、嘉島町、氷川町の6市町に各3～4名派遣（第2陣：8月2日～8月6日）。

【市町村に対する人的支援】

- ・被災市町村に対する避難所支援等の人的支援ニーズに対し、対口支援及び県内自治体からの派遣を実施中。
本日8月3日現在、439人を派遣中（うち対口支援331人・県及び県内市町村職員108人）。 ※LO（情報連絡員）及び技術職除く

【8月3日の派遣状況】

派遣先 市町村	避難所 支援	罹災証明 受付・交付	住家被害 認定調査	災害ごみ 処理	その他	保健師	計	派遣元団体(8/3派遣分)	累計 (7/29～)
熊本市	63						63	【対口支援】東京都、神奈川県、札幌市、仙台市、さいたま市、静岡市、浜松市、京都市、堺市、広島市、福岡市	115
八代市	71				2		73	【対口支援】岡山県、山口県、大分県、鹿児島県、沖縄県、北九州市 【県内調整分】人吉市	230
宇土市	15	5					20	【対口支援】滋賀県、京都府、徳島県、香川県、福岡県	55
宇城市	105	35					140	【対口支援】富山県、石川県、長野県、岐阜県、愛知県、三重県、兵庫県、宮崎県、福岡市 【県内調整分】熊本県、山鹿市	293
美里町		19	2	3		1	25	【対口支援】長崎県 【県内調整分】阿蘇市、玉東町、南関町、和水町、南阿蘇村	60
嘉島町	9			3		1	13	【県内調整分】熊本県、荒尾市、菊池市、小国町、高森町	53
甲佐町				4			4	【県内市町村】山都町	16
氷川町	63	10		8			81	【対口支援】鳥取県、佐賀県、高知県、愛媛県 【県内調整分】熊本県、荒尾市、玉名市、山鹿市、菊池市、合志市、南関町、長洲町、和水町、西原村、南阿蘇村、湯前町、五木村、球磨村	228
芦北町	12	8					20	【県内調整分】熊本県、玉東町、南阿蘇村、津奈木町、あさぎり町、相良村、山江村	69
計	338	77	2	18	2	2	439		1119

令和8年熊本地震に係る 第6回政府非常災害現地対策本部会議 第13回災害対策本部会議

【企画振興部】

R8.8.3(月)14:00時点

交通機関の被害状況

○鉄道関係

●JR九州 ※詳細な被害は調査中

- ・九州新幹線：熊本駅～鹿児島中央駅間で、防音壁落下損傷等200カ所以上、レール破断2カ所、橋脚のズレ1カ所
- ・鹿児島本線：熊本駅～八代駅間で、架線断線1カ所、レール歪み5カ所、乗降場破損2カ所、電柱損傷多数、車両破損（パンタグラフ）2編成

●肥薩おれんじ鉄道 ※被害調査は継続中

- ・線路変状 八代～日奈久温泉間
- ・き電線断線 日奈久温泉～肥後二見間 他
- ・乗降場破損 上田浦駅構内 他

肥薩おれんじ鉄道被害状況▶



○航空機関係

●熊本空港

- ・ターミナルビル及び貨物ビル：一部設備に不具合があるものの、通常運用に支障なし
- ・ターミナル内の水道水の一部で濁水を確認。検査の結果「濁度」のみ基準に達せず、引き続き再検査実施予定。
（1店舗が休業、その他店舗は浄水器設置や提供商品を絞るなどして営業）

○バス関係

- ・九産交・産交バス：八代営業所は建物亀裂・アスファルト隆起により業務停止中。その他営業所建物に亀裂・ガラス割れ
- ・熊本バス・熊本電鉄：営業所の建物亀裂
- ・都市バス：営業所の天井・機材破損



○フェリー関係

- ・熊本フェリー：人道橋の先端と船体のハッチの一部が損傷

○タクシー関係

- ・熊本市中央区・東区・南区、八代市、荒尾市、宇土市、上天草市、宇城市、人吉市、御船町及び益城町の27事業者
28営業所における建物損壊、電気・水道・ガスの不通及び車両破損（県タクシー協会が調査中）

令和 8 年熊本地震に係る 第 6 回政府非常災害現地対策本部会議 第 13 回災害対策本部会議

交通機関の運行状況

○鉄道関係

＜JR九州：熊本エリア＞

- 九州新幹線(上下線) 熊本～新水俣：当面の間、運行取り止め（8月中の運行再開は困難な見込み）

新水俣～鹿児島中央：運行取り止め（運行再開に向けて調整中）

- 鹿児島本線(上下線) 宇土～八代：当面の間、運行取り止め（8月中の運行再開は困難な見込み）

※バス等による代行輸送は、道路等の被災状況やバスの確保が困難なため、具体的な実施の計画は未定

＜肥薩おれんじ鉄道＞

- 7月29日から1週間程度全線運転見合わせ（一部区間は復旧に時間を要する見込み、被害の少ない区間は部分的な再開に向けて修復作業を実施予定）

○バス関係

＜九州産交・産交バス＞

- 路線バス：八代方面は全便運休（八代市街地循環バス（3系統：みなバス・まちバス・ゆめバス）を8月6日（木）から運行再開）
三角～宇城（松橋駅）線は全便運休

- 高速バス：宮崎・鹿児島方面は全便運休（8月7日まで運休決定、8月8日以降は未定）

- 特急バス・快速バス：たかちほ号は全便運休（8月3日まで運休決定、8月4日から運行再開）

- その他 バス車両をクーリングシェルターとして避難所等に提供する方向で調整中

今後の対応

【交通関係】 交通機関の運行状況について、引き続き情報収集に取り組み、適時適切な情報発信に努め、被害の拡大と二次被害の発生防止に努める。

【デジタル】 ●災害支援機器（モバイルPC、タブレット、スマホ/携帯、モバイルルーター、スターリンク、ドローン）の貸出
●DX相談窓口（災害に伴い発生する申請や情報集約等の事務の省力化）
●D-CERT派遣による県及び市町村への支援に向けた被災状況やニーズの把握

令和 8 年熊本地震に係る
第 6 回政府非常災害現地対策本部会議
第 1 3 回災害対策本部会議

R8.8.3（月） 1 4 : 0 0 時点

被害状況、対応状況**【社会福祉施設、医療機関等における被害状況】****〈人的被害〉**

○救護施設や医療機関等において、負傷者あり（骨折、軽傷ほか）

〈物的被害〉

○医療機関 2 5 0 施設、薬局 1 3 2 施設、高齢者施設 8 7 3 施設、児童福祉施設等 3 7 6 施設、
障がい者福祉施設 3 3 4 施設、救護施設 3 施設、と畜場 2 施設、県有施設 4 施設

【物資】

○グランメッセ（展示ホール A）及び（株）亀万運送の倉庫（八代市）を県の物資集積拠点として開設。
○国からのプッシュ型支援により、スポットクーラー、電源車、水・食料等について受入れ後、避難所に順次発送。

【被災地の保健・医療・福祉支援について】

○「熊本県保健医療福祉支援会議」の開催（7/31以降毎日実施）
○各支援チームの動き：DHEAT、DMAT、日赤救護班、日赤災害医療コーディネートチーム、JMAT、DPAT、災害支援ナース、県保健師対口支援、県外保健師等チーム、日本栄養士災害支援チーム(JDA-DAT)、日本災害リハビリテーション支援協会(JRAT)、災害派遣福祉チーム(DWAT、DCAT)、日本災害歯科支援チーム(JDAT)、災害薬事コーディネーター等が被災地の支援ニーズに応じ、増強しながら活動中。

【モバイルファーマシー（移動式薬局）について】

○8/1から熊本県薬剤師会のモバイルファーマシー（MP）が宇城市で活動中。
8/2から福岡県薬剤師会は八代市、宮崎県薬剤師会は氷川町でそれぞれ活動中。

令和 8 年熊本地震に係る
第 6 回政府非常災害現地対策本部会議
第 1 3 回災害対策本部会議

対応状況

【宿泊支援提供事業】

- 市町村に事業の実施を通知済。県旅館ホテル生活衛生同業組合と連携して以下の市町村において実施を決定。
宇土市・宇城市・八代市・氷川町・甲佐町
- 本日からホテルへ移動を開始（宇土市 1 件、宇城市 1 件）。

【入浴支援事業】

- 市町村に事業の実施を通知済。以下の市町村において実施中。
天草市・上天草市・宇土市・宇城市・八代市・氷川町・水俣市・御船町

【ペット同行避難関係】

- ペット同行避難が可能な避難所情報を県 H P に掲載（今後も随時更新）。

【感染症・食中毒対策】

- 避難所の感染症予防・食中毒予防・感染管理のため、チラシやSNSを用いた啓発を実施するとともに、避難所へ消毒液を配布・設置。感染症対策徹底のため、改めて関係市町村に避難所へのチラシ掲載を依頼。
また、災害時感染制御支援チーム（DICT）及び実地疫学専門家（FETP）の派遣を要請・決定。

【応急仮設住宅関係】

- 早期の建設型応急住宅の整備に向け、事前準備中。
- 賃貸型応急住宅及び住宅の応急修理制度については、準備が整った市町村から順次窓口を開設。

【医療機関や社会福祉施設等における給水の確保】

- 給水支援本部により医療機関や福祉施設等への給水調整開始。

【船舶を活用した医療支援】

- 防衛省の船舶「はくおうⅡ」を活用した医療支援実施を防衛省・内閣府へ要請。

対応状況

★熱中症対策・エコノミークラス症候群予防の啓発・注意喚起に関する取組み★

- 県 H P に掲載
- チラシの掲示・配布
 - ・避難所
 - ・ガソリンスタンド
 - ・給水スポット 等



注意！ 車中泊をされている皆様へ
車中泊をされている方は、以下の対策を行きましょう。

1 熱中症の対策

めまい、手足のしびれ、こむら返り、頭痛、吐き気、だるさ、倦怠感等の症状は、熱中症の兆候があります。特に返事がおかしい、意識消失、けいれん、体が熱い等の症状が現れる場合は救急車（119）を要請してください。

予防方法

- ① こまめに水分・塩分を補給する（のどが渇く前に飲む）
- ② 暑さを避ける
 - ・車内は日陰や風通しの良い場所に駐車する。
 - ・車内はエアコンや扇風機で温度管理する。
 - ・風通しの良い服を着用し、保冷剤などで体を冷やす

※ 乳幼児等を車の中で一人にさせないようにしましょう。

2 エコノミークラス症候群の対策

長時間動かず、同じ姿勢でいると、エコノミークラス症候群を起こす可能性があります。足にできた血栓が解けずに詰まり、胸痛、呼吸困難、失神等の症状が出現し、大変危険な状態となることもあります。

予防方法

- ① 長時間同じ（特に車中等での静態）姿勢でいないようにする。
- ② 足指を前後に動かす、足の指をこまめに動かす、または歩く。
- ③ 適度な水分を取る。
- ④ 時々深呼吸をする。

○ 予防のための足の運動

熊本県

熊本県健康危機管理課 健康づくり推進課からのお知らせ

避難されている皆様へ

地震により長時間避難所で生活されていると、エコノミークラス症候群、熱中症、食中毒が発生する可能性があります。避難所での車中泊生活では、以下の点に注意しましょう。

1 エコノミークラス症候群の対策

長時間足を動かさずに同じ姿勢でいると、エコノミークラス症候群を起こす可能性があります。初期症状として、太ももから下の足が痛くなったり、腫れたり、痛み等が出現することもあります。足にできた血栓が肺に詰まり、突然の胸痛、呼吸困難、失神等の症状が出現し、大変危険な状態となることもあります。

予防方法

- ① 長時間同じ（特に車中等での静態）姿勢でいないようにする。
- ② 足指を前後に動かす、足の指をこまめに動かす、または歩く。
- ③ 適度な水分を取る。
- ④ 時々深呼吸をする。

2 熱中症の対策

めまい、立ちくらみ、手足のしびれ、こむら返り、頭痛、吐き気、だるさ、倦怠感等の症状が現れる場合は、救急車を要請してください。

予防方法

- ① こまめに水分・塩分を補給する（のどが渇く前に飲む）
- ② 暑さを避ける
 - ・日中の外出を控え、帽子や日傘を利用する
 - ・車内はエアコンや扇風機で温度管理する
 - ・風通しの良い服を着用し、保冷剤などで体を冷やす
- ③ 外泊時は日陰で休憩をとる

3 食中毒の予防

- ① 調理場所は清潔に保ち、手洗いもしっかり行いましょう。
- ② 生ものは避けて、加熱したものを食べるようにしましょう。
- ③ 調理したものは、早めに食べましょう。
- ④ 食後は、食器が上がない限りは速に片付けましょう。
- ⑤ 食べ物が置いてある場所やペットなどの動物を近づけないようにしましょう。
- ⑥ 提供された食品は、消費（賞味）期限に食べましょう。

4 その他

- ① 具合が悪くなった場合は、早めに避難所等に相談しましょう。
- ② 食中毒アレルギーのある方は、食事にアレルギーが添付されているかどうかを確認しましょう。

連絡先：熊本県健康づくり推進課 096-333-2208
熊本県健康危機管理課 096-333-2247

- メディアによる広報
 - ・県政テレビ（T K U）において C M 放映
※8/3～8/8
 - ・県政ラジオ（N H K / R K K）で呼びかけ
※7/30～当面の間

- 県公式 S N S による注意喚起
（X、Facebook、LINE、Instagram）

※知事自らのメッセージ動画
も掲載

- 市町村における防災無線による呼びかけの実施

- 緊急消防援助隊等関係機関の協力による啓発活動



令和8年熊本地震に係る
第6回政府非常災害現地対策本部会議
第13回災害対策本部会議

対応状況

【災害ボランティアセンター情報】

計 427名

市町村名	設置日	募集開始日	参加人数
熊本市	8/3	未	—
八代市	7/29	未	—
宇土市	8/1	8/1～	20名
宇城市	8/1	8/1～	198名
美里町	7/29	8/1～	60名
御船町	7/31	8/1～	35名

市町村名	設置日	募集開始日	参加人数
嘉島町	7/31	8/1～	41名
益城町	8/1	8/1～	52名
※現在受付停止（第1期分募集人員充足）			
甲佐町	7/29	8/2～	21名
氷川町	8/1	未	—
芦北町	未	未	—

※上天草市、高森町、南阿蘇村、西原村、阿蘇市、菊陽町、大津町は、通常ボランティアセンターとして活動予定

※募集内容の詳細は、各社会福祉協議会のHPを御確認ください。（現在募集中の市町分のみ掲載）

宇土市



宇城市



美里町



御船町



嘉島町



甲佐町



※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です

被害状況

被害状況

【人的被害】

○被害なし（入院患者、職員、委託職員）※非番職員についても安否確認済。

【建物被害】

○大きな損壊なし。細かい破損あり。詳細は精査中。

○書棚、キャビネット、パソコン、テレビ等、転倒多数。コインランドリー、検査室機器一部故障。

※地震後停電（空調切れ）。20時に電気（空調）復旧。ボイラー・給湯一部故障。

※井戸水利用、地震後白濁が見られ、飲用停止。29日（水）水質検査（30日（木）結果：飲用可）

※入院患者には、28日（火）夕方、29日（水）朝は非常食提供。29日（水）昼から給食再開。

※29日（水）の外来は予約、緊急について対応。30日（木）から通常診療。

デイケア等は、31日（金）から再開。

今後の対応

・現在入院患者98名（発災後16名受入）。今後の患者受入について、現在の医療体制を踏まえ、当面の受入れ目安を110名程度とする。（関係機関連絡済）

（8/3、避難所等から2名の入院受入れ）

・避難者受入れ要請があった場合、会議室提供可能。（職員配置困難）

・当院から災害支援ナース2名派遣（1名：氷川町8／3～、1名：八代市8／12～）。

被害状況

【水道の状況（断水）】

市町村名	熊本市（※）	宇城市（※）	甲佐町	八代市	氷川町	
断水戸数	約900 (▲1,350)	約15,580 (▲70)	約300	約25,300	約3,200	計 約45,280戸 (▲1,420)

※ 試験通水実施中

【廃棄物処理施設等の状況】

- ごみ処理関係：（焼却施設）通常稼働 1 1、点検中 4
（収集運搬）全市町村通常通り
- 仮置場関係：設置予定の 1 2 市町村の全てで開設済
（宇土市、宇城市、美里町、西原村、御船町、嘉島町、
甲佐町、芦北町、上天草市、益城町、八代市、氷川町）
※宇土市、宇城市は8/8(土)以降新たな仮置場を追加予定
- し尿処理施設関係：通常稼働 1 3、稼働不可 1（八代生活環境事務組合）→別施設で処理中



仮置場：竜北グラウンド（氷川町）

これまで・今後の対応

【水道関係】

- 水の安定供給のため、国交省の協力を得て「給水支援本部」を立上げ、情報集約を一元的に行う体制を構築。
緊急性の高い施設を抽出し、関係機関が連携して、応急給水を進めている。

【災害廃棄物処理関係】

- 廃棄物処理に係る職員を環境省と福岡市及び仙台市から熊本県に派遣。

【県民生活関係】

- 阿蘇山上に設置の移動式トイレコンテナを8/3(月)氷川町健康センターに移設し、供用を開始。

トイレコンテナ（氷川町）



令和8年熊本地震に係る
第5回政府非常災害現地対策本部会議
第13回災害対策本部会議

被害状況**【県有施設等】**

○グランメッセ熊本：

- ・ ABホールを物資集積拠点として使用中（必要に応じてCDでの物資集積も可能な状態）
- ・ 一般利用は当面休止（7/29～1か月程度）

【商工関連事業者等】

○商工業関連 1,566件（被害額確認中含む）、被害額150億円

- ・ 休止していた八代商工会議所は、本日から業務再開（熊本商工会議所から応援派遣（8/4～））
- ・ 休止していた氷川町商工会は業務再開し、県連合会の支援のもと特別相談窓口を設置準備中

○誘致企業 現時点で181社において建屋や設備等の被害を確認

○地場企業 建物、設備等の被害あり 85社、調査中 17社

○発電施設 太陽光発電施設：被災4か所 被災総額約517万円

風力発電施設被害発生なし

バイオマス発電施設8施設（日本製紙ほか7件）が被災、発電停止

今後の対応**【被災商工関連事業者等への支援】**

○県に特別相談窓口を設置。 商工政策課096-333-2316 商工振興金融課096-333-2314

○国が県内の関係機関等に特別相談窓口を設置

○東京スター銀行 熊本支店が、台湾の方なども利用可能な、中国語対応の金融相談窓口を設置
電話番号：096-326-0059

○熊本県信用保証協会において、中小・小規模事業者向けの緊急時短期資金保証制度及び緊急時条件変更の取扱いを開始

○被災企業調査・支援チームを設置（アグリシステム総合研究所内（八代市鏡町）に常駐）し、八代・氷川地域の被災企業を中心に3チーム6人体制で実態調査を本日より開始。

令和 8 年熊本地震に係る 第 6 回政府非常災害現地対策本部会議 第 1 3 回災害対策本部会議

現在及び今後の対応

【1 ホテル避難】

- ・被災地に近い八代、水俣芦北、人吉球磨のホテルを中心に受入施設を掘り起こし、県内 9 4 施設を確保。

八代、水俣、人吉	その他県内	合計
18施設	76施設	94施設

- ・本日8月3日（月）13：30から避難所でチラシ設置により周知を行い、申請フォームから受付を開始。
- ・準備ができ次第、専用コールセンターを開設予定。

【2 はくおうⅡの受入】

- ・はくおうⅡを活用したホテルシップ運用のため、部内でチームを編成し、防衛省、関係機関と連携のうえ入浴支援を最優先に調整中。

【3 宿泊キャンセル調査】

- ・関係団体や市町村を通じて、県内宿泊施設のキャンセル状況調査を実施。
- ・本日正午まで把握したキャンセル状況は以下のとおり。今後にも必要に応じて継続調査を実施。

＜調査結果概要＞（7/28～7/31受付分）

○キャンセル人泊数： 約65,500人泊 ※暫定値

○キャンセル額： 約9億円 ※暫定値

※「キャンセル泊数」又は「キャンセル額」いずれか一方しか回答がなかったものについても計上。

令和8年（2026年）8月3日

避難者の皆様

熊本県観光文化部観光振興課

ホテル等避難のご案内

避難所での生活が長引く中、少しでも心身の負担を軽くし、安心してお過ごしいただけるよう、「ホテル・旅館への避難（ホテル等避難）」をご案内します。

★被災されてホテル等への避難を希望される方であればどなたでも申し込みいただけます。

1. 概要

対象となる方	被災されてホテル等への避難を希望される方
避難先	国・熊本県が確保するホテル等（状況によっては、県外になる場合などご希望に添えない場合があります。）
費用	宿泊費は原則公費負担となります。食費・宿泊税・入湯税等は自己負担です。
移動	ホテル等が送迎車を準備する場合などを除き、ホテル等までの移動手段は、ご自身での確保をお願いします。なお、ご自身での移動手段の確保が難しい場合は申込フォームの特記事項記入欄にてご相談ください。
期間	お住まいの市町村の避難所が閉鎖されるまでの間で、各ホテル等が受け入れ可能な期間（状況により、別のホテル等にお移りいただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。）

2. 注意事項

- ① 通常の宿泊施設としてのサービスを保証するものではありません。例えば、リネンの交換等も一定期間毎にご自身で行っていただくことや、食事はご自身での調達が原則となります。
- ② 滞在中のホテル等の周辺での移動費も自己負担となります。
- ③ ホテル等避難を行う際は、携帯電話やラジオ等、情報収集が可能な機器を持参するようお願いします。また、お住まいの市町村のホームページなどに掲載される支援情報等について定期的な確認をお願いします。
- ④ 申込内容に虚偽がある場合を含め、不適切と認められる申込等については、全額返金を求めるなど、必要な処置を取らせていただきます。

3. 申込方法

本書の内容をご理解いただき、
同意いただいた上で、下記 QR コードから申込フォームに
必要事項を入力し、お申込みください。



※ 今後、関係機関との協議等により、運用を変更することがあります。

令和8年熊本地震に係る 第6回政府非常災害現地対策本部会議 第13回災害対策本部会議

【農林水産部】

R8.8.3（月） 14：00時点

被害状況

■農業関係

【農作物・農業施設】

○農作物被害

- ・果実の落果(梨)：被害中～大の模様※調査中(氷川町等)
- ・イチゴ高設ベンチの倒壊及び苗の転倒(宇城市、氷川町)
- ・いぐさ作業場、倉庫等の倒壊による機械類や織機等の被害(八代市、氷川町)
- ・イチゴ、露地野菜、いぐさ等の用水路の損壊等による水供給不足(氷川町、八代市)

○園芸施設

- ・ハウスの液状化(熊本市、八代市)

○畜舎・農舎

- ・農業用倉庫、牛舎・畜舎の倒壊(宇城市、熊本市、益城町)
- ・換気扇故障による採卵鶏死亡(大津町)
- ・乳業工場の施設内機械破損(熊本市)
※生乳は受入れできるが製品が製造できないため、全量を別工場へ移送

○共同利用施設

- ・卸売市場の施設・設備損壊(八代市、熊本市)
- ・直売施設の施設・設備損壊(宇城市)
- ・J A 熊本経済連第二園芸集送センターの損壊、停止(宇城市)
※現在出荷分（ナス等）の対応を検討中

【農地（田、畑）、農業用施設】

- ・田、畑：法面崩れ等 52箇所(八代市ほか12市町村)
- ・農業用施設：水路の損傷等 584箇所(八代市ほか15市町村)
- ・防災重点農業用ため池56箇所、農地海岸保全施設12箇所において、異常(堤体の沈下、護岸のひび割れ等)を確認
- ・球磨川遙拝堰から取水している不知火幹線水路(国営事業実施中)のひび割れ等により、農業用水の供給が停止(八代市)
- ・幹線用水路の沈下等により、農業用水の供給が停止(氷川町)

■林業関係

【林道施設】

- ・法面崩壊・落石 11路線28箇所(八代市)

【山腹崩壊】

- ・山腹崩壊・落石 4箇所(天草市、小国町、美里町、甲佐町)

【苗木生産施設】

- ・苗木の灌水施設の損壊(熊本市)※復旧済み

【林産施設等】

- ・林産物加工施設等の損傷 23箇所(八代市ほか6市町)

■水産業関係

【共同利用施設】

- ・八代市ほか4市町の計7施設で配管や外壁等に損傷

【養殖施設】

- ・養殖施設の破損(熊本市、八代市)

【漁港】

- ・県管理16漁港のうち4漁港で、防波堤空石積崩落や物揚場損傷等
- ・市町管理87漁港のうち22漁港で被害あり

■その他【農林水産部関係施設】

- ・中央家畜保健衛生所(熊本市)
施設内検査機器及び焼却炉の破損(最低限の検査体制に復旧)
- ・茶業研究所(御船町)
電動シャッターや天井等の破損(機器の動作確認中)
- ・アグリシステム総合研究所(八代市)
停電(復旧済)、断水(上水道)、機器破損(復旧に1週間以上必要)
- ・果樹研究所(宇城市)
断水(上水道)、作業道等の地割れ、ハウス損壊、機器破損、梨落果



梨の落果（氷川町）



イチゴ高設育苗の破損（八代市）



J A 熊本経済連 第二園芸集送センターの損壊（宇城市）

令和8年熊本地震に係る 第6回政府非常災害現地対策本部会議 第13回災害対策本部会議

【農林水産部】

R8.8.3 (月) 14:00時点

今後の対応

- 部内各課、広域本部・地域振興局関係課等と連携し、引き続き被害状況調査を実施。

■ 被災農業者等への支援

- ・ 各広域本部(地域振興局)農業普及・振興課に「営農相談窓口」を、団体支援課(096-333-2371)に「金融相談窓口」を設置。(関係機関の災害等特別相談窓口)
日本政策金融公庫熊本支店(農林水産事業) 096-353-3104
農林中央金庫熊本支店 096-353-1147
- ・ 農業保険の対応について、農林水産省から、振込期限の延長、共済金の迅速な支払い、収入保険に係るつなぎ融資の実施等に関する通知あり。

■ 農業革新支援センター情報の発出

- ・ 技術情報として「油流出防止対策」、「イチゴ苗対策」、「塩害対策」、「農薬容器破損対応」の4情報を発出。
- ・ 液状化等による土壌への影響が懸念されるため、農研センターと連携して「土壌分析チーム」を設置。

■ 農林水産部関係の災害時応援協定に係る対応状況

- ・ 県酪連との救援物資提供に関する協定：飲料の在庫状況やニーズを踏まえ、対応を調整中
- ・ 災害時における応急仮設住宅用木材の供給に関する協定に基づく連携
- ・ 漁港建設協会との被災漁港への支援に関する協定：状況に応じて対応を調整中

■ 被害が確認された農地・農業用施設

- ・ 農業用水路の供給が停止している不知火幹線水路(八代市)について、30日から国が応急工事に着手。
- ・ 氷川町の幹線用水路の復旧工事に県が着手。
- ・ 被災した防災重点農業用ため池56箇所では、管理者等においてブルーシート掛け等の応急対策や監視体制の強化を実施中。
- ・ 被災した農地海岸保全施設12箇所では、交通止め等の安全対策を実施済み。今後、対策工法の検討を実施予定。



幹線用水路測量状況
(氷川町)



猫迫ため池
ブルーシート設置
(宇城市)



日奈久海岸通行止め
(八代市)

■ 農林水産省からの支援

- ・ MAFF-SAT(農林水産省サポート・アドバイス・チーム)の派遣(7/28～、延べ13名)
- ・ 農林水産省から技術指導及び被害調査等支援のため農業土木技術職員派遣(7/30～、延べ160名)
- ・ 林野庁(九州森林管理局含む)からの派遣(7/29～、延べ11名)
- ・ 水産庁(九州漁業調整事務所含む)からの派遣(7/29～、延べ3名)
- ・ ヘリによる林野関係被災状況調査を実施済み(7/30)
⇒被災状況の把握等を国と連携して対応

被害状況

【道路・橋りょう】

< 県管理道路 > ※これまで全面通行止め 26 箇所発生、そのうち 19 箇所解除

現時点の全面通行止め 7 路線 7 箇所

- 三本松甲佐線（甲佐町） ・ 御船甲佐線（御船町） ・ 八代鏡線（八代市） ・ 鏡宮原線（氷川町）
- ・ 八代不知火線（八代市） ・ 益城矢部線（御船町）
- ・ 国道 219 号新萩原橋（八代市） ※ 8 / 1 午後 7 時～緊急車両通行可能

※幹線道路上の倒壊建築物撤去に 7 / 30 着手

八代鏡宇土線（八代市）については本日（8 / 3）午前 5 時に撤去完了。段差解消は昨日（8 / 2）完了。

< 直轄国道・高速道路 >

- 九州道（松橋 I C～えびの I C） 全面通行止め <https://ihighway.jp/pcsitesite/map/?area=area09>
※松橋 I C～宮原 S A 及び坂本 P A～えびの I C：緊急車両通行可能
※宮原 S A～坂本 P A：8 月お盆前後に緊急車両通行可能となる見込み
- 南九州道（八代 J C T～田浦 I C） 全面通行止め ※八代南 I C～田浦 I C：緊急車両通行可能



八代鏡宇土線（八代市）
倒壊建築物

【河川・海岸】

- 河川：55 河川 294 箇所です堤防沈下や護岸ひび割れ等を確認。
（重要水防区間全 248 箇所点検済）
- 海岸：9 海岸で護岸等のひび割れやずれを確認。

【公園等】

- 各県営都市公園
・エコパーク水俣：液状化発生。立入禁止措置、応急対策完了。・テクノ中央緑地：園路のひび割れ発生。被害箇所は立入禁止措置。

【下水道・集落排水】

< 県流域下水道 >

- 八代北部浄化センター：管渠点検完了、マンホール周辺の陥没が複数発生。

< 市町下水道 > ※震度 5 弱以上の市町を確認

- 4 市町（八代市、宇土市、氷川町、宇城市）：点検中。

※点検中の 4 市町からの支援要請を受け、7 / 31 から職員 4 名を LO 派遣。国、福岡県、福岡市、北九州市、熊本市、管路管理業協会及び日本下水道協会の協力のもと、8 / 2 から点検体制を強化。

被害状況**【港湾・空港】**

- 八代港：外港地区において、岸壁の亀裂やガントリークレーンの損傷、ふ頭用地の液状化が発生。
その他、大島地区臨港道路の液状化、内港地区の岸壁亀裂等が発生。（一部応急復旧済み）
多くの支援船の円滑な受け入れと港湾機能の早期回復に向けた、国土交通省の「管理代行」が本日より開始された。
- 八代港、三角港における支援船の受け入れについて、九州地方整備局と連携して調整。
7/29から、海上保安庁・海上自衛隊・国交省の巡視船等を順次受け入れの上、飲料水や救援物資の提供を開始。
- 港湾海岸：全23海岸中22海岸で点検が完了し、上天草港海岸で目地開きを確認。八代港海岸で点検中。

【砂防施設・土砂災害】

- 砂防施設（400箇所）のうち352箇所の点検が終了。現時点で被害報告なし。

【公営住宅】

- 市町村営住宅については、17市町村134団地で外壁や敷地のひび割れ、屋根瓦破損等の被害。
- 県営住宅での被災者受入について、8/2から周知を開始し、8/6から受付開始（29戸）。
市町村営住宅では、荒尾市及び水俣市で入居受入中。八代市、玉名市、菊池市、宇城市、南関町、和水町、南阿蘇村、氷川町、津奈木町、多良木町が準備中。

【建築・盛土】

- 建築物応急危険度判定について、八代市、宇土市、宇城市、美里町、嘉島町、氷川町、芦北町で実施中。
※九州・沖縄ブロックから判定士の応援受入れ（8/1～）。
- 建設型応急住宅の整備に向けて、本日から宇城市及び氷川町で最初の建設工事に着手（宇城市3団地50戸、氷川町1団地20戸）。

【国土交通省等からの支援】

- T E C - F O R C E等の派遣：86名（県庁4名、宇城市30名、八代市20名、氷川町5名、甲佐町5名、熊本市2名、県内20名）
- 災害対策用機械等の派遣（対策本部車：県南広域本部・八代市、給水車：八代市・宇城市、スターリンク：宇城市役所、美里町役場）
- ヘリによる被災状況調査（7/28, 29, 30, 31, 8/1（県と合同調査）、8/2、8/3）
- 防災用コンテナ型トイレの派遣（美里町カントリーパーク、小川町総合文化センター、氷川町伝承館、竜北グラウンド、八代市鏡支所、道の駅竜北）
- 日建連をはじめ建設業界団体からの避難所への物資等支援（飲料水：宇土市、仮設簡易トイレ：八代市等115基等）

今後の対応

- 調査・情報収集を継続するとともに、道路啓開、河川・港湾・公園の応急対策、建築物応急危険度判定等に全力を挙げる。

令和 8 年熊本地震に係る 第 6 回政府非常災害現地対策本部会議 第 13 回災害対策本部会議

【教育委員会】

R8.8.3（月） 14：00時点

被害状況**【人的被害】（熊本市分を含む） ※今回から学校活動中の被害に関わらず人数を計上**

- 学校 87名（児童生徒 82名 教職員 5名）
- 社会教育施設 10名（利用者 8名 職員 2名）

【物的被害】（熊本市分を含む）

- 学校 256校（県立56校、市町村立200校） ※学校施設被害一覧は割愛
 - ・宇土中・宇土高：普通教室9室、特別教室3室が入る第3棟（3F）の損傷が激しく使用不能
 - ・八代工業高校：校舎内ガラス破損多数 ・松橋西支援学校：地割れ、柱の割れ
 - ・熊本市立城西小学校：体育館金物落下 ・八代市立龍峯小学校：グラウンド地割れ、校舎損傷 ・甲佐町立乙女小学校：建物のひび・ずれ 等
- 学校関係施設 62施設（県立5施設、市町村立57施設）
 - ・給食センター建物の壁にクラック 教職員住宅の瓦落下 等
- 文化財 100施設（登録件数）
 - ・熊本城：石垣崩落 ・八代城跡：石垣崩落並びに石塔倒壊 ・人吉城跡：土砂崩れ ・松浜軒：損壊 等
- 社会教育施設 40施設
 - ・豊野少年自然の家：ガラス割れ、水道管破裂
 - ・氷川町文化センター：柱のひび割れ、タイル・石積のズレ ・八代市立図書館：建物のひび・ずれ 等
- 社会体育施設 39施設
 - ・熊本県陸上競技場：支柱土台破損、天井コンクリ片落下、藤崎台県営野球場：グラウンドにひび ・県営八代運動公園：陸上競技場の液状化
 - ・熊本甲佐総合運動公園：園路被災（噴砂） 等

【学校再開に向けて】

- 学校給食の確保
 - ・パン・牛乳：新学期から全県において確保できる見込み
 - ・調理関係：調理場については、明日以降学校給食の再開に向けた調査を実施
- 児童生徒・教職員の「心のケア」について
 - ・スクールカウンセラー（SC）、スクールソーシャルワーカー（SSW）等も含めた支援体制整備に着手
- 新学期に向けた学校安全確保について
 - ・1班体制（文部科学省と熊本県の合同チーム）で行っていた学校施設の応急危険度判定を明日（8月4日）から3班体制に拡充
 - ・これにより、県立学校（24校）及び14市町村（148施設）について、8月上旬を目途に応急危険度判定を完了する見込み

【県管理教育施設の活用状況】

- 熊本県立総合体育館において熊本市の避難所開設
- 県立青少年の家（天草・菊池・豊野・あしきた）において避難者及び救援チームを受入開始
（8/2時点 豊野少年自然の家：避難者 16世帯 44名、あしきた青少年の家：緊急消防援助隊等 124名）
- 県営八代運動公園の北側駐車場を九州電力の車両待機場所として活用

今後の対応

- 未指定文化財等の被害状況把握及び保護のため文化財レスキューを実施
・被災した国指定名勝「松浜軒」の被災状況の現地確認及び文化財レスキューについては所有者との打合せを実施済
- 被災文化財の復旧及び被災市町村との支援を円滑に進めるため文化財復旧チームを設置
- 被災所となっている鏡わかあゆ支援学校に本庁から職員を派遣
- 氷川町教育委員会に学校支援チームを派遣（明日以降、他県からの学校支援チームも氷川町以外の自治体で活動予定）
- 危険度判定士（文科省からの派遣）による学校建物の安全確認中
- 教育庁HPへの専用ページ開設
- 引き続き、人的被害の安否確認及び物的被害の状況等の確認



宇土中学・高校（第3棟）



松橋西支援学校



八代市立龍峯小学校



甲佐町立乙女小学校

**令和 8 年熊本地震に係る
第 6 回政府非常災害現地対策本部会議
第 13 回災害対策本部会議資料**

【県警本部】

R8.8.3（月） 14：00 時点

警察の対応

【110 番通報】

373 件（家屋倒壊、火災、建物倒壊、家屋閉じ込め、電柱倒壊等）

【捜索活動状況】

- ・要救助事案 61 件対応済み

【交通対策状況】

- ・八代市、宇城市を中心に 4 件 の信号滅灯が続いている。
- ・高速道路の交通規制を実施しており、各インターチェンジにおいて広域緊急援助隊（交通部隊）122 人を配置するなどして交通整理を実施中

【防犯対策等の状況】

- ・警察災害派遣隊（特別自動車警ら部隊及び被災者支援部隊）の約 350 人が、被災地における警ら活動及び被災者支援等を実施中
- ・生活安全部隊が、避難所における相談対応、防犯指導、パトロール（イオンモール熊本の警戒）等を実施中
- ・特別捜査隊が八代警察署、宇城警察署、御船警察署において犯罪捜査、よう撃捜査等を 8 車 16 人で実施中
- ・捜査活動支援班が八代警察署において事件処理等に從事中
- ・九州各県から特別警備部隊約 100 人を応援要請し、イオンモール熊本における防犯警戒及び八代警察署、宇城警察署、御船警察署管内における倒壊家屋、空き家警戒を実施中

【今後の対応】

- ・引き続き、県外応援部隊及び関係機関と連携して防犯対策、交通対策、検挙対策等の諸対策を実施



避難所（氷川中学校）への
防犯カメラ設置



特別自動車警ら部隊による
熱中症対策チラシの配布

令和 8 年熊本地震に係る 第 6 回政府非常災害現地対策本部会議 第 13 回災害対策本部会議

【知事公室】

R8.8.3（月） 14：00時点

被害状況**【県在住外国人関係】**

- ・ 人的被害 ○ 熊本県外国人サポートセンターに寄せられた被災情報は 2 件。
- ・ 情報の発信 ○ 外国人コミュニティに対し、通訳等の依頼先として外国人サポートセンターの連絡先を周知。
 - 出入国在留管理庁の災害専用回線開設について各市町村に連絡。
 - 熊本県外国人サポートセンターHPにおいて、災害のときにとる行動、相談先等を発信。

【旅券申請関係】

- 災害救助法適用市町村において、旅券発給手数料減免を開始（半壊以上の被災者が対象）。

【くまモン関係】

- くまモン隊、くまモンスクエア、くまモン利用許諾事務局 人的被害なし。
- くまモンスクエアについては、7月30日から営業を再開（くまモンステージは当面見送り）。施設の大きな被害はなく、共用通路壁の剥がれ、館内壁のひび割れを確認。

【県広報関係】

- 県庁ホームページ内に、地震に関する特設ページを開設し、災害対策本部会議資料や注意喚起（被災時の熱中症対策等）などを一括して掲載するとともに、県庁各種SNSにより情報を発信する。

今後の対応

- 外国人留学生や外国人コミュニティ等からの情報収集を継続。
- 大使館、領事館等からの問い合わせに対応。
- 外国人サポートセンターにより市町村と連携した外国人からの相談への対応を実施。
- くまモン隊の活動については、当面の間、県外・海外を含むすべての出勤を見送り、今後の活動については、県内の被害状況を踏まえ決定することとする。
- 令和 8 年熊本地震の被害等に対して行われる募金活動など、各種支援活動へのくまモンのイラスト利用については、7月29日から当面の間、現在公表している全てのイラストを届出制（許諾不要）とする特例措置を実施。

令和 8 年熊本地震に係る
第 6 回政府非常災害現地対策本部会議
第 13 回災害対策本部会議

【出納局】

R8.8.3（月） 14：00時点

被害状況

＜債権者への支払について＞

- 指定金融機関（肥後銀行）に確認
 - ・ システムに支障はなく、債権者への支払について影響なし

＜財務会計システムの稼働状況について＞

- 本庁・出先機関に確認
 - ・ 本庁・出先機関共に財務会計システム支障なし

＜県内金融機関の状況＞

- ・ 肥後銀行、熊本銀行、熊本県信用組合、熊本中央信用金庫の一部の店舗が臨時休業

今後の対応

- 引き続き、指定金融機関等を通じ、各金融機関の状況を情報収集していく
- 引き続き、本庁・出先機関を通じ、財務会計システムの稼働状況について情報収集していく

令和 8 年熊本地震に係る
第 6 回政府非常災害現地対策本部会議
第 13 回災害対策本部会議

【企業局】

R8.8.2（日）14:00時点

被害状況

○電気事業

- ・運転停止した笠振発電所及び緑川第三発電所が7月29日中に運転再開
- ・他の発電所及び幸野・船津ダムに異常なし

○工業用水道事業

- ・三工水（有明、八代、苓北）の浄水場内設備に被害なし
- ・有明及び苓北の場外配管に被害なし
- ・八代の場外配管に漏水被害あり
- ・新規工水工事現場での被害なし

○有料駐車場事業

- ・県営駐車場は補強部材のコンクリート被膜にクラックあり

今後の対応

- ・八代工水の漏水被害について詳細調査と対策を検討